

第48回日本児童文学学会賞の決定について

日本児童文学学会賞、同奨励賞および同特別賞は、わが国の児童文学・児童文化研究の発展に寄与する、年度ごとの優れた業績に贈られます。

今回は、二〇二三年七月から二〇二四年六月までの一年間に発表された児童文学・児童文化分野に関する研究・評論の中から、日本児童文学学会会員の推薦等をもとに、日本児童文学学会賞選考委員会(横川寿美子委員長・浅野法子・鶴野祐介・佐藤宗子・水間千恵の各委員)が選考にあたりました。結果は次のとおりです。

なお、授賞式は、一月三〇日(土)午後四時二〇分より、当学会第63回研究大会の席上にて行います。

二〇二四年一〇月

日本児童文学学会会長 浅岡 靖央

第48回日本児童文学学会賞

◇該当作なし

第48回日本児童文学学会奨励賞

◇魏晨(ギョウ・Wei Chen)『満洲をめぐる児童文学と綴方活動——文化に潜む多元性、辺境性、連続性』ミネルヴァ書房 二〇二三年十一月三〇日

【贈賞の理由】本書は、「満洲」の児童文学と綴方のいくつかの事例に着目し、満蒙開拓や教育活動の観点から「満洲」の文化的様相をとらえなおす試みである。膨大な先行文献や関連資料をおさえながら、おとなと子ども、戦前と戦後という切り口から検証し、子ども文化に携わる人の精神活動を多角的に検討した点で評価できる。副題の「多元性、辺境性、連続性」の明示には、より俯瞰的な視座が求められるが、今後の研究への発展性が期待される。

【受賞者の略歴】天津市生まれ。天津外国語大学卒業。名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。博士(文学)。武漢大学文学院講師、お茶の水女子大学専任講師を経て、岐阜大学地域科学部助教。

第48回日本児童文学学会特別賞

◇正置友子(まさぎともこ)

【贈賞の理由】綿密な資料調査に基づきヴィクトリア朝タイプブックの全体像を明らかにし、近代絵本史の空白部分を埋めた『A History of Victorian Popular Picture Books (風間書房 二〇〇六)』や、『文庫主宰者としての実践経験を臨床哲学と結びつけた』メルロ＝ポンティと子どもと絵本の現象学 子どもたちと絵本を読むということ』(風間書房 二〇一八)等の著作は、絵本研究の新たな地平を開拓した。また『日本絵本原画展 イン・イングランド』(二〇〇二)や『国際児童文学学会(IRSC)日本大会』(二〇〇七)開催の中心的役割を担うなど絵本・児童文学研究の国際化に貢献し、『生きるための絵本 命生まれるときから命尽きるまで』の絵本127冊』(風間書房 二〇一三)等、学術的知見に裏打ちされた一般向けの著作や講座・講演活動により絵本文化の浸透と発展を促進し、児童文学文化研究の振興に寄与した。

【受賞者の略歴】名古屋生まれ。愛知県立大学文学部英文学科卒業。ローハンプトン大学大学院 大阪大学大学院文学研究科博士課程修了。PhD(文学)、博士(学術)。聖和大学(現関西学院大学)教授を経て、現在、青山台文庫(一九七三年開設)および絵本学研究所主宰。右記以外の著作として、『絵本の絵を読む』共訳書、ジェーン・ドゥーナン著 玉川大学出版部 二〇一三、『保育のなかの絵本』共編著、かもがわ出版 二〇一五、ほか。